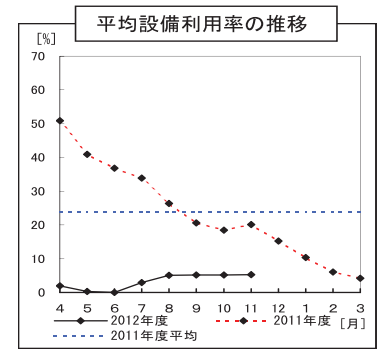


わが国の原子力発電所の運転実績

Table with columns: 会社名, 発電所名, 炉型, 認可出力 [万kW], 発電電力量 [MW時], 設備利用率 [%], 稼働時間 [時], 時間稼働率① [%], 備考. Includes summary rows for total and average performance.

備考: *1 一次冷却材中の放射能濃度上昇に伴う点検停止(11/5/7- (第18回定検中))
*2 原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部取替に伴う停止(11/3/1- (第13回定検中))
*3 第24回定検中(10/12/10- 調整運転(11/3/13-7/16)、蓄圧タンク圧力の低下に伴う停止(11/7/16-9/20))

※お断り
圧力プレート設置に伴い、志賀2は135.8万kWから120.6万kWに出力を変更している。各表のデータは、変更後の数値に基づく。



炉型別平均設備利用率 (Average Equipment Utilization by Reactor Type) table with columns: 炉型, 基数, 出力 [万kW], 設備利用率 [%].

電力会社別平均設備利用率 (Average Equipment Utilization by Power Company) table with columns: 会社名, 基数, 出力 [万kW], 設備利用率 [%].

設備利用率 = (発電電力量 / (認可出力 × 稼働時間)) × 100 (%)
時間稼働率① = (稼働時間 / 暦時間数) × 100 (%)
時間稼働率② = ((認可出力 × 稼働時間)の合計 / (認可出力 × 暦時間)の合計) × 100 (%)

原子力発電所運転速報
11月の設備利用率5.3%に
北海道で大規模停電発生
原産協会の取りまとめによると、十一月の国内原子力発電所稼働状況は、関西電力大飯3、4号機の二基のみがフル稼働し、全体の設備利用率は五.三%。他のプラントは引き続き、すべて停止している。
厳冬期に向けて、これから電力需要の急増が見込まれる北海道では、二十七日、暴風雪の影響により鉄塔が倒壊するなど、室蘭地区を中心に送電への支障が生じ、停電に見舞われたほか、電線の垂れ下がりに伴い、道路交通も寸断された。三十日まで全面復旧したが、泊1、3号機(計二百七万kW)が全停止しているところ、北海道電力では、計画停電回避のため、でんき子報の充実を図るなど、節電啓発に努めている。
東北電力の女川発電所では六日、炉心損傷等が発生した場合、水素爆発を防止するため、2号機で原子炉建屋ベント装置の設置工事が開始された。今後、同1、3号機でも、ベント装置の設置工事に着手するほか、水素検知器も設置することとしており、いずれも一、二年度内の完了を目指す。
また、同東通発電所では二十六日、当初計画していた高さ約二mの防潮堤(長さ約二km)の工事が完了した。防潮堤は、中央防災会議の津波検討結果を踏まえ、念のため、さらに高さ約一分のかさ上げを行うこととしており、雪解け後に工事を再開し、一三年五月までの完了を目指す。これと並行して設置工事が進められてきた防潮堤については、十月末に工事が完了している。

「ニュークレオニクス・ウィーク」日本語版
platts
福島事故後、世界の原子力動向は、わが国のエネルギー政策にも大きく関わる問題として注目されています。その最新情勢を現地取材に基づき、タイムリーに伝える情報源として「Nucleonics Week」は国際的にも信頼されています。
日本原子力産業協会では、1991年以来、独占翻訳権を得て「ニュークレオニクス・ウィーク日本語版」として発行しています。迅速かつ原子力専門家による監修を経て、英語版と殆ど時間差なく、電子メールマガジンの形で直接購読者に配信しています。

放射線利用事業の振興と原子力の利用に係る知識及び技術の普及を振興するために
◆放射線・原子力利用の普及事業
◆照射サービス事業
◆技術移転事業
◆原子力研修事業
一般財団法人 放射線利用振興協会
http://www.rada.or.jp